

## 早期臨床体験：医療人としてのヒューマニズム

責任者・コーディネーター	薬学教育学分野 奈良場 博昭		
担当講座・学科(分野)	薬物代謝動態学分野、分子細胞薬理学分野、臨床医化学分野、天然物化学分野、生体防御学分野、地域医療薬学分野、神経科学分野		
対象学年	2	区分・時間数	実習 43.5 時間
期 間	通年		
単位数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

専門科目が本格的に始まった2年生として、臨床に関わる様々な事象を体験、討論、グループワークを通して学び、考える。将来、薬剤師として自らが目指す目標を考え、今後の学びの礎とする。

また、6年制薬学教育では、5年次における長期の実務実習が必修とされ、そのための基本的能力（知識・技能・態度）を適切に評価するための薬学共用試験（CBTとOSCE）が4年次に実施される。そこで、薬学共用試験を中心として、薬剤師国家試験も含めて、その理解を深めることを目的としたSGLとまとめの発表を行う。

### ・教育成果（アウトカム）

医療人としての倫理観を醸成すること、災害医療を学ぶこと、施設での介護の体験すること、そして学ぶということの意義を理解することなどを通して、「誠の医療人」を目指す自覚を確立する。

また、薬学共用試験、薬剤師国家試験に関して、各班で自らテーマを設定し、資料調査、ディスカッション、発表することで、CBT・OSCE・国試に対する認識と理解が深まり、学習意欲が醸成される。

（ディプロマ・ポリシー：1～9）

### ・到達目標（SBO）

#### 人の一生と医療に関わる生命倫理

1. 生と死、医療などに関わる倫理的問題を、生命倫理の諸原則等に基づき説明できる。
2. 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。（☆）
3. 患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。（☆）

#### 薬学共用試験および薬剤師国家試験について考える

1. SGLにより薬学共用試験、薬剤師国家試験を認識、理解する。（☆）
2. グループで協力してまとめた成果を発表し、全員で情報を共有する。（☆）
3. 適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。（技能・態度）
4. 適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。（技能・態度）
5. 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。（知識・技能・態度）

#### 被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ

1. 東日本大震災について岩手県の状況を説明できる。（☆）
2. 東日本大震災について岩手県の復興状況を説明できる。（☆）
3. 災害時の避難所の運営の難しさを理解する。（☆）
4. 災害時の薬剤師の役割に関して概説できる。（☆）

5. 災害時の薬局の役割について説明できる。(110)
6. 災害時医療について概説できる。(1058)
7. 災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。(1059)
8. 災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。(1060)

施設での患者とのコミュニケーションを体験する

1. 介護・福祉施設における薬剤師業務と薬剤師の役割を説明できる。(☆)
2. コミュニケーションを通して、患者にかかわり、好ましい関係を保つ。(態度) (☆)
3. チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。(3) (態度)
4. 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。(52)

ドリームナビ及びコーチング入門

1. コーチングとティーチングの違いを説明できる。(44)
2. 傾聴、承認、質問の基本を実践できる。(45, 46, 47, 48)
3. 社会の中で貢献し活躍している自分の将来像を描ける。(65)

・ 講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

人の一生と医療に関わる生命倫理

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/2	火	4	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (1)導入講義 1. 生と死、医療などに関わる倫理的問題を、生命倫理の諸原則等に基づき説明できる。
4/12	金	3	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (2)課題の提示 教材視聴 1.様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。
4/12	金	4	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (3)教材視聴 SGD 役割分担 1.様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。
4/19	金	3	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (4)SGD 1.患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。 【グループワーク】
4/19	金	4	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (5)SGD 発表準備 1.患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。 【グループワーク】

4/26	金	3	生体防御学分野 生体防御学分野 生体防御学分野 生体防御学分野	大橋 綾子 教授 白石 博久特任教授 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教	人の一生と医療に関わる生命倫理 (6)発表会 1.様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。 2.患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。 【グループワーク】
------	---	---	--	---	--

薬学共用試験および薬剤師国家試験について考える

5/7	火	2	天然物化学分野	藤井 勲 教授	概要説明、テーマ設定
5/10	金	4	薬物代謝動態学分野	小澤 正吾 教授	テーマの選定・確認、資料調査 1. 薬学共用試験、薬剤師国家試験に関する適切な資料を収集することで、薬学共用試験、薬剤師国家試験に臨む心構えができるようになる。 【グループワーク】
5/21	火	3	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	テーマ公表、資料調査 【グループワーク】
5/23	木	3	臨床医化学分野	那谷 耕司 教授	資料調査、取りまとめ、発表準備 1. SGLにより薬学共用試験、薬剤師国家試験を認識し、理解できる。 2. グループで協力してまとめた成果を発表し、全員で情報を共有できる。) 【グループワーク】
6/5	水	3	分子細胞薬理学分野 臨床医化学分野	弘瀬 雅教 教授 那谷 耕司 教授	全体発表会 1 1. 適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。 (技能・態度) 2. 適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。(技能・態度) 3. 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。 (知識・技能・態度) 【プレゼンテーション】
6/5	水	4	臨床医化学分野 分子細胞薬理学分野	那谷 耕司 教授 弘瀬 雅教 教授	全体発表会 1 【プレゼンテーション】

6/13	木	3	薬物代謝動態学分野 天然物化学分野	小澤 正吾 教授 藤井 勲 教授	全体発表会2 1. 適切な聴き方、質問をすることで、相手の考えや感情を理解し、共感できるようになる。(技能・態度) 2. 適切な手段により自分の考えを相手に伝えることができるようになる。(技能・態度) 3. 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができるようになる。(知識・技能・態度) 【プレゼンテーション】
6/13	木	4	薬物代謝動態学分野 天然物化学分野	小澤 正吾 教授 藤井 勲 教授	全体発表会2 【プレゼンテーション】

被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ及び施設での介護を体験する

5/13	月	1・2	薬学教育学分野 創薬有機化学分野 創薬有機化学分野 臨床医化学分野 創薬学分野	奈良場 博昭 教授 辻原 哲也 助教 稲垣 祥 助教 高橋 巖 助教 松尾 泰佑 助教	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・避難所運営を体験する。 【ロールプレイ】 事前学習：あらかじめ指定されたテーマに関してグループ内で分担して資料を収集しておくこと
5/13	月	3	薬学教育学分野 生体防御学分野 生体防御学分野	奈良場 博昭 教授 大橋 綾子 教授 白石 博久特任教授	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・沿岸被災地について事前学習する。 【グループワーク】 事後学習：作成したプレゼン資料を見直しておくこと
5/14 ～ 5/16	火 ～ 木	1 ～ 4	薬学教育学分野 薬学教育学分野 薬学教育学分野 薬学教育学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 薬物代謝動態学分野 分析化学分野 臨床医化学分野 機能生化学分野 情報薬科学分野 薬物代謝動態学分野	奈良場 博昭 教授 宮澤 倫子 非常勤講師 金野 良則 非常勤講師 湊谷 寿邦 非常勤講師 高橋 寛 教授 高橋理絵子 非常勤講師 藤岡 綾乃 非常勤講師 幅野 渉 准教授 藤本 康之 准教授 大橋 一晶 准教授 後藤 奈緒美 助教 佐京 智子 助教 寺島 潤 助教	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・沿岸被災地を訪問し、行政や薬剤師の説明を聞く。 ・沿岸被災地の現状を把握する。  施設での介護を体験する ・施設での患者とのコミュニケーションを体験する。 ・病院、施設で患者とのコミュニケーションを通し、患者とのよい人間関係づくりを体験する。 ・介護・福祉施設における薬剤師業務と薬剤師の役割を説明できる。 ・コミュニケーションを通して、患者にかかわり、好ましい関係を保つ。(態度) ・チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。(態度) 【フィールドワーク】

					事前学習：各グループでまとめた資料を見直しておくこと 事後学習：現地の資料をグループ内で分担してまとめておくこと
5/17	金	3・4	薬学教育学分野 生体防御学分野 地域医療薬学分野 薬学教育学分野	奈良場 博昭 教授 大橋 綾子 教授 高橋 寛 教授 熊谷 明知 非常勤講師	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・沿岸被災地についてまとめる。 【プレゼンテーション】 事後学習：各自で感想文を作成し提出すること

ドリームナビ及びコーチング入門

4/3	水	3	神経科学分野	駒野 宏人 教授	コーチングの概要を学び、ティーチングとの違いを理解する。コーチングの基本スキル（傾聴、承認、質問）の意義を理解し実践できる。 【グループワーク】【ロールプレイ】
4/3	水	4	神経科学分野	駒野 宏人 教授	コーチングの基本スキル（傾聴、承認、質問）の意義を理解し実践できる。 【グループワーク】【ロールプレイ】
9/2	月	3	神経科学分野 衛生化学分野	駒野 宏人 教授 杉山 晶規 准教授	薬剤師等の医療人として活躍している将来像を思い描き、それを写真や絵を使ってコラージュで表現する。 【プレゼンテーション】【双方向授業】 事前学習：コラージュ作成のため、あらかじめ、自分の夢・将来像を考え、それを表す写真や絵を収集しておく。
9/2	月	4	神経科学分野 薬物代謝動態学分野	駒野 宏人 教授 幅野 渉 准教授	薬剤師等の医療人として活躍している将来像を思い描き、それを写真や絵を使ってコラージュで表現する。 【プレゼンテーション】【双方向授業】 事前学習：コラージュ作成のため、あらかじめ、自分の夢・将来像を考え、それを表す写真や絵を収集しておく。
9/20	金	1	神経科学分野 薬学教育学分野	駒野 宏人 教授 奈良場 博昭 教授	建学の精神「誠の人間」とは、どのような人間かを学ぶ。岩手医大創立者「三田俊次郎」、初代学長「三田定則」あるいは岩手の偉人や尊敬する人達の生き方、書物から「誠の人間」について考える。 【グループワーク】【プレゼンテーション】 【双方向授業】 事前学習：「三田俊次郎」「三田定則」あるいは岩手の偉人や尊敬する人達の生き方や書物を学んでおく。

10/18	金	3	神経科学分野 薬学教育学分野 地域医療薬学分野	駒野 宏人 教授 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	各自の「誠の人間、誠の医療人」像を考え発表し共有できる。 【グループワーク】【プレゼンテーション】 【双方向授業】 事前学習：「三田俊次郎」「三田定則」あるいは岩手の偉人や尊敬する人達の生き方や書物を学んでおく。
-------	---	---	-------------------------------	----------------------------------	---

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック ver.2	西鶴智香	薬事日報社	2017

・成績評価方法

「人の一生と医療に関わる生命倫理」、「薬学共用試験および薬剤師国家試験について考える」、「被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ」、「施設での患者とのコミュニケーションを体験する」、「ドリームナビ及びコーチング入門」の5つのパートで20%の割合で、参加態度、レポート、感想文などから評価する。

・特記事項・その他

体験型学習のため自ら進んで積極的に参加することが望ましい。